

表紙の題字は



播磨西小学校6年
なかはた ゆづ
中畑 結都さん
の作品です

これから先も続く町

私が今、住んでいる播磨町はやさしい心を持っていて人が多くです。公園で遊んでいるとき、声をかけてくれたり、「気をつけて遊んでね。」と心配してくれたりします。これから先もやさしく、あたたかい播磨町であってほしいと思います。

私はそのために、あいさつをすることが大切だと考えました。あいさつをすると、その人がうれしくなります。そうすると笑顔が増えます。あいさつをすることで町はあたたかくなると考えました。また、助け合いが必要だと考えます。一人一人がまわりを気にかけて、こまっている人を助けると、やさしい心の持ち主が増えるのではないかと考えました。

私は町の人に、すぐくお世話になっていきます。自分が気づいていないだけで、町の人にめいわくをかけていると思います。今、めいわくをかけている分をこれからおん返ししたいと思います。次は私たちががんばる番です！

～ステキな出会いがありました～



▲点灯式オープニング♪(播磨南高校)



▲魚のつかみどり (北池)



▲野添ふれあい文化の集い (蓮池小学校体育館)



▲土山駅イルミネーション

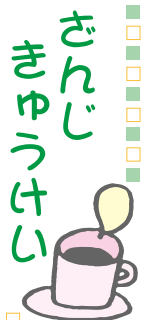


▲恒例のしめ縄づくり (二子北)

Photo Memory
フォトメモリー

季節の花ことば 山茶花 (サザンカ)

寒い冬の季節に凛と咲くサザンカの花ことばは「愛嬌」です。これからも、みなさまにとって親しみやすい議会を目指します。



昨年2月に始まったロシアによるウクライナ侵攻から1年近くが過ぎましたが、まだ終息の兆しはみえていません。夏には世界各地で、気候変動による40度を超える猛暑が続く、大きな被害も出ました。

コロナ禍での私たちの生活も、早や3年が過ぎました。ワクチン接種が軌道に乗り、治療薬も承認され、今後はコロナと上手く付き合っていくことになりそうです。

さて、平成31年の町議会改選から早くも4年となり、私たち議員の任期も残すところ後3か月となりました。

今年の干支であるウサギのように、ピョンピョン駆け回れると油断することなく、しっかりと地に足を付けて、全力で取り組んでまいります。本年もよろしくお願いたします。

(野北)